

シェル (myshell) の改良 2

簡易シェル (`myshell`) にリダイレクト機能を追加しなさい。
また、動作確認をしなさい。

改造

1. リダイレクト機能

文法: `... > ファイル名 ...` (出力リダイレクト)

`... < ファイル名 ...` (入力リダイレクト)

説明: 入力行のどの位置でもよいので, `>`, `<` で指示できる.

(`>`, `<` の前後には空白が必要である.)

リダイレクト機能が使用できるのは外部コマンドだけとする.

すでに `ファイル` が存在する場合は内容を上書きする.

使用例: `Command: ls > a.txt`

使用例: `Command: grep .txt < a.txt`

2. プログラムの作成

レポジトリをクローンし `myshell.c` を編集してプログラムを完成する.

上の仕様を満たすプログラムを美しくコーディングする.

できたと思ったら十分な動作テストを行う.

3. 動作テスト

ファイルを作成して出力が書き込めるか.

既にあるファイルに出力が上書きできるか.

ファイルから入力できるか確認する.

文法的におかしなことをした場合を確認する.

その他, 何が必要か考えて行う.

コンパイル方法

`Makefile` を準備してあるので `make` コマンドでコンパイルできる.

```
$ make
cc -D_GNU_SOURCE -Wall -std=c99 -o myshell myshell.c
```